

リファレンスクラス・マイクロチェンバ

IEC60731とTG-51のリファレンス・スペックを満たすために
デザインされた、マイクロチェンバ

EXRADIN A26 イオンチェンバ 0.015CC



● リファレンスクラス・クオリティ

リファレンスクラスのチェンバのクオリティを有するマイクロチェンバです。

- 安定性と再現性のある測定が可能
- 早い安定化時間
- イオン再結合補正係数による補正が可能
- 最小限に抑えられた極性効果補正
- 最小限に抑えられたエネルギー依存性

● 小照射野のリファレンス測定に

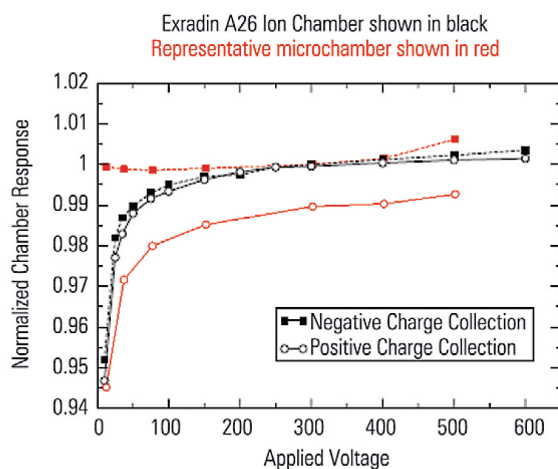
FFFビームの測定やスキャンニング測定にも適用可能なチェンバです。

● 体積平均効果と方向依存性が極小

電荷収集空洞は直径4.3mmの球形であるため方向依存性がほとんどなく、体積平均効果の影響もほとんどありません。

● 優れたガード電極のデザイン

Exradinチェンバは、絶縁体の表面をガード電極が囲んでおり、安定した収集体積を確保しています。

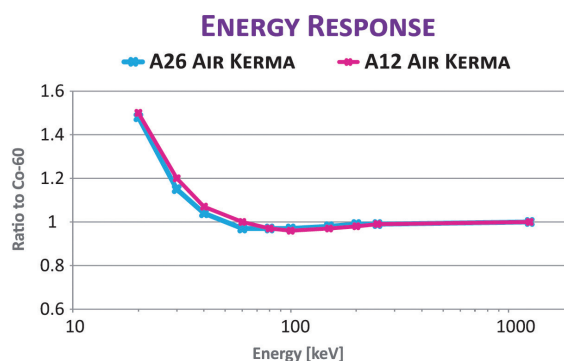
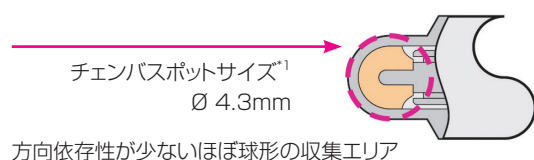


The Exradin A26 Ion Chamber does not exhibit the polarity effects seen in microchambers.

Courtesy of Miller, Jessica R., Ph.D.
Characterization and optimization of microionization chambers
Dissertation, University of Wisconsin - Madison
ProQuest/UMI, 2013 (Publication No. 3606471)

特徴

- 防水構造のため、スリーブやコーティングを必要としません。
- 堅牢なC552伝導性強化プラスチックで構成されているため、長年お使いいただけます。
- STEM効果が非常に小さく、リークも少ないため、精度が高く信頼性のある測定が行えます。
- 水中や空中、またはファントム等様々な場面での絶対線量測定が可能です。
- 安定するまでに必要な時間が最小限です。
- MR対応版（非磁性体構成）もラインナップしています。



リファレンスクラスチェンバの定義 ^{*2}	リファレンスクラス IEC/TG51	Exradin A26
P _{leak} : リーク	0.1%未満	✓
P _{pol} : 極性効果	0.4%未満の補正	✓
P _{pol} : 極性効果	0.5%未満の最大変動	✓
P _{ion} : イオン再結合補正	線形（線形／パルス当たり）	✓
初期再結合	0.3%以内の結合	✓
P _{ion} に対する極性依存性	正と負のバイアス間0.1%未満	✓
チェンバの長期安定性	0.3%以内の変化（2年経過時点における）	発売後2年未経過

*1 測定可能な最小照射野サイズではありません

*2 TG51に基づく

EXRADIN A26チェンバ(REF 92746)仕様

収容体積	0.015cm ³	シェル、コレクター、ガードの材質	C552 Shonka 空気等価のプラスチック
スポットサイズ	4.3mm	最大印加電圧	1000V
収容体積の中心	1.98mm (シェルの外先端から)	漏洩電流	±10fA
収容体積シェルの外径	4.3mm	防水性	Yes
収容体積シェルの内径	3.3mm	規格	CE 0413 IEC60601-1、IEC60731準拠
シェル壁厚	0.5mm	特許申請中	
付属ビルドアップキャップ	Co-60用		

仕様は予告なく変更することがあります。

ORDERING
INFORMATION

EXRADIN A26 ION CHAMBER REF 92746

DOC #A26-BR-01

TECHNOL 株式会社 千代田テクノル

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディーアイシービル6階
Tel. 03-3252-1691 Fax. 03-5297-3863

STANDARD IMAGING